

1 題材 「生き物として生きる」(国語3 光村図書)

2 題材について

(1) 題材観

「便利」という言葉には、プラスイメージがある。確かに日常に溢れる様々な機械類のことを考えれば当然である。だが、「便利」な物を「作る」という発想が、「生き物」とりわけ「人間」にも向けられるとどのような問題が起こるのか。筆者は「便利」、「作る」などという日常よく使う言葉の裏に隠された考え方を探ることから生命倫理に関わる深い問題を提起していく。

文章を様々な角度から読むことで、筆者の考え方をただ受け入れるのではなく批判的にも検討し、自分なりの考えを持つために論理的な視点から見通し、深めていくのに適した教材といえる。

(2) 系統観

各学年の説明文教材は以下のように配列してある。

第一学年 「未来を開く微生物」	第二学年 「モアイは語る」	第三学年 「生き物として生きる」
<ul style="list-style-type: none"> ○事実と意見を読み分け、文章の構成や展開をとらえて、内容の理解に役立てる。 ○文章の要旨をとらえ、社会、自然について、もの見方や考え方を広げる。 ○事象などを表す多様な語句・語彙について関心を持ち、その意味を正確にとらえる。 ○文と文の接続関係を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章中に示された事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取り、自分の考えを広げ深める。 ○段落に着目し、文章の論理の展開の仕方をとらえ、語句の効果的な用い方と合わせて自分の表現に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○便利さを求める人間の欲求と科学技術の進歩がもたらす危険、生き物としての人間の生き方、生きることと科学技術などについて書かれた文章を読み、自分の考えを深める。 ○根拠や理由に着目して文章を読み、論理の展開をとらえ、自分の表現に役立てる。

(3) 生徒観

本学級は、男子19名、女子18名、計37名である。男女仲は割とよく、明るく活動に取り組むことができる。

4月の標準学力テストの結果を見ると、言語事項の数値は全国標準より高いが、文章において言葉の意味を正確に読み取ることを含め、読むことの数値が全国平均を下回っている。

国語の学習に対して事前に意識調査、プレテストを行ったところ次のような結果を得た。

<p>●意識調査 (9月7日実施 35名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明文の学習は好きですか。 はい 1名 まあまあ好き 8名 あまり好きではない 20名 嫌い 6名 ○小説や物語の内容は理解できますか。 はい 9名 まあまあ理解できる 20名 あまり理解できない 4名 分からないことが多い 2名 ○文章に書かれていることから、自分の考えを持つことができますか。 よくできる 0名 まあまあできる 19名 あまりできない 13名 できないことが多い 3名 ○説明文の授業において、文章の中の筆者の意見と具体例(事実)がきちんとわかりますか。 よくわかる 2名 だいたいわかる 18名 あまりわからない 12名 分からないことが多い 3名 ○読書は好きですか。 好き 3名 まあまあ好き 17名 あまり好きではない 11名 嫌い 4名
<p>●プレテスト (学習指導要領の内容及び関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章の展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てること。(読むこと1年) 正解率 89% ○目的をもって様々な文章や資料から、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。(読むこと2・3年) 正解率 34%

(4) 指導観

- 学習問題を設定し、見通しを持って学習に取り組めるよう学習シートなどを工夫する。
- 生徒自らの疑問や前時の学習を学習課題に反映することができるよう、ディベート等の話し合いの形態を工夫し自分の考えが深まるよう工夫する。
- 自分達の学習をより具体的に振り返ることができるよう自己評価、相互評価を工夫する。

【人権同和教育の視点】

- 学習形態を変えながら、互いに励まし、評価し、認め合いながら学習できる場の設定を行う。

3 研究テーマ(部会)との関連

<p>(「読むこと」部会テーマ) 言葉を大切にしながら読みの力を育む授業づくり</p>

(1) 言葉を手がかりにして内容を正確に読みとらせる取組

- ①スキルの獲得「やろう」
 - ・辞書を活用し、読み取るための重要な言葉を学習シート等で提示し、学習の流れを理解

- させる。
- (2) 自分の考えや意見をもてるような手立てを工夫する取組
- ①スキルの駆使 「つかおう」
- ・学習目標を提示することで目的意識をもって学習に取り組ませるようにする。
 - ・構成を図示し、大きな展開を視覚的にとらえる学習シートを工夫する。
 - ・目的や場面に応じた言葉を用い、自分の考えをもてるような話し合いの工夫をする。
- ②読みの深まり 「しろろ」
- ・学習課題に対して、自分の考えを自分の言葉でまとめ、変化を振り返る自己評価を工夫する。

4 題材の目標

- ◎筆者の述べていることをもとに、生きることと科学技術に関する考えを深め、自分なりの考えを持つ。
(C-1-エ、オ)
- 根拠や理由に着目して文章を読み、論理の展開をとらえ、自分の表現に役立てる。
(C-1-ア)

5 指導と評価の計画 (5時間取り扱い)

次	時	学 習 活 動	評 価 規 準	評価方法
1	1	○教科書を通読し、興味を持った言葉、疑問に思った内容をもとに初発の感想を作成する。	《関心・意欲・態度》 ①「生き物として生きる」という言葉に興味を示し、納得したり疑問に思ったりした根拠を述べようとしている。	観察 ワークシート
2	2	○本文の構成を理解し、各段落の内容や表現を読み取り筆者の工夫を評価する。	《読む能力》 ①筆者が「便利」、「思い通り」、という言葉「機械」、「生き物」、「人間」を例に挙げながら効果的に用い、主張を展開していることを理解しようとしている。	観察 ワークシート
3	1	○全文を通しての筆者の主張を図で表し、筆者の論の進め方について評価する。	《読む能力》 ①筆者の論理の構成の仕方についてまとめ、主張の特徴について理解しようとしている。	観察 ワークシート
4	1 (本時)	○シナリオディベートを用い、筆者の論理を吟味しながら、新たな視点を通して自分なりの意見を持つ。	《読む能力》 ①教科書中の言葉について理解を深め、言葉から自分の考えを深めようとしている 《言語事項》 ①話し合いを通して、言葉と内容のつながりを考えて自分の意見を持つようとしている。	観察 ワークシート

6 本時の学習

(1) 本時の目標 (5/5)

- これまで学習したことを参考に筆者の主張を理解することができる。
- 筆者の例とは別の文章をもとに構成したシナリオディベートを行い、自分の考えを持つことができる。

(2) 評価

評価項目	評価規準	具 体 の 評 価 基 準	つまづきへの手だて
読むこと	読むこと ①	A 筆者が「便利」、「思い通り」という言葉を「機械」、「生き物」、「人間」を例に挙げながら効果的に用い、主張を展開していることを理解し、まとめようとしている。	「作る」という言葉の使われかたに着目させる。
		B 筆者が「便利」、「思い通り」という言葉を「機械」、「生き物」、「人間」を例に挙げながら効果的に用い、主張を展開していることを理解しようとしている。	
言語事項	言語事項 ①	A 話し合いを通して、言葉と内容のつながりを考えて自分の意見を持ち、まとめようとしている。	言葉の意味について説明を行ったり、辞書で調べる等の活動を行う。
		B 話し合いを通して、言葉と内容のつながりを考えて自分の意見を持つようとしている。	

本時の展開

過程	能態	形態	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応
導入 分	徹底	一斉	<p>これまでの学習を振り返る。</p> <p>○前の時間に筆者の結論 まとめ の段落はどこか、論理の展開はどうだったかを振り返りましょう。</p>	<p>○前の時間は、結論の内容を学習したな。</p>
展開 分	能動	一斉	<p>本時の課 を知る。</p>	
分	能動	個人	<p>筆者が使った事実 具体例 で、筆者の意見に納得できるか、考えよう。</p>	
			<p>課 について話し合い、結論 まとめ と根拠の関係を吟味する。</p> <p>課 に対して自分の意見を持つ。</p> <p>○筆者の意見についてどう思いますか。</p> <p>各グループごとの話し合い 考えを交流する。</p> <p>○話し合いを受けて考えは変わりましたか。</p> <p>話し合いを受けて、自分の考えをまとめる。</p> <p>筆者の結論に対してそれを支える事実 具体例 の妥当性について考える。</p>	<p>○筆者の意見は、「生き物は思い通りにはならないところがたくさんある」だったな。</p>
分	能動	個人	<p>筆者の結論を基にした、シナリオディベートを行い、考えてみよう。</p>	
			<p>グループごとに課 に取り組む。</p> <p>評価者を納得させるよう活動する。</p> <p>○シナリオディベートを行い、評価者を納得させましょう。</p> <p>筆者の結論に対し自分の考えをまとめる。</p>	<p>○筆者 肯定 の意見、筆者と反対の意見 否定 の両 から話し合いを進め、どちらが評価者を納得させるか考えてみよう。</p>
まとめ 分	徹底	一斉	<p>本時の学習をまとめる。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。</p>	<p>○今日は、筆者の意見は適切な具体例 事実 で説明してあったかどうかを考えたなあ。</p>

教師の支援	評価 評価方法	備 考
<p>●筆者のまとめが、段落であることを確認する。</p>		<p>学習シート</p>
<p>●事実と意見の関係、論理の展開について考えた話し合いを意識させる。</p> <p>●話し合いを受けて自分の考えをまとめ、シートに記入させる。 研究の視点 ①</p> <p>●シナリオディベートを受けて自分の考えをまとめシートに記入させる。研究の視点 ②</p>	<p>○筆者の結論 まとめ、事実 具体例 の内容を把握できているか。観察・シート [つまずきへの手だて] 前時の学習シートを活用する 板に掲示し確認する 事実 具体例 を図化する</p> <p>○結論を導くための事実 具体例 が妥当であるか考え、自分の考えを書くことができたか。 観察・発表・シート</p>	<p>学習シート</p> <p>学習シート 板掲示シート フラッシュカード</p> <p>学習シート シナリオ ディベート)</p> <p>学習シート</p>
<p>●本時の学習の成果を発表させる。</p> <p>●今日の学習を振り返らせる。</p>		